



MIKIKOGYO CO.,LTD.

第57期 株主通信

平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

まちの未来の幹になる。

Become the future of the "MIKI" of the city



美樹工業株式会社

証券コード：1718

01 経営方針には全員が参画し
経営計画は必ず達成する会社

02 お客さまから満足と
信頼をいただき
お客さまに感動を与える会社

03 社会に責任をもち
社会に容認される会社

04 情報を共有し情報を開示し
経営の透明性を誇れる会社

05 地域に奉仕貢献し
地域に密着した会社

06 環境問題に
真剣に進歩的にとり組む会社

07 脱請負を旨とし
企画事業 提案受注を旨とする会社

08 礼儀作法 規則 約束を守り
社格の向上に努める会社

09 相互信頼と切磋琢磨が
共存する会社

10 無事故 無災害を継続する会社

人と社会に選ばれる美樹工業を目指します。

平素は当社グループ事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第57期連結会計年度（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用状況の着実な改善や所得環境の改善による個人消費の持ち直しなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦問題などによる世界経済に与える影響や海外経済の不確実性等、留意が必要な状況が続いています。

建設業界におきましては、政府建設投資については震災復興関連事業や五輪関連事業等により堅調に推移しておりますが、大規模な自然災害等による建設資材や労務費の高騰に伴う建設コストの上昇等の懸念事項があります。

このような状況のもと、当社グループの業績につきましては、受注は設備事業セグメントにおいて大型産業用太陽光設置工事の契約変更が行われた影響から前年同期を下回る結果となりました。

売上高については、当社の設備事業セグメントにおいて大型

工事の進行基準による完成計上がありました。建設事業セグメントにおいて前連結会計年度に大型工事の完成計上があった反動による売上高の減少や、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフの引渡棟数の減少による売上高の減少に伴い、連結売上高は前年同期比7.8%減の29,470百万円となりました。

利益につきましては、売上高の減少や建設コストの上昇に伴う収益性の低下により、連結営業利益は前年同期比30.4%減の1,320百万円、連結経常利益は前年同期比31.7%減の1,292百万円となりました。また、賃貸不動産物件の売却に伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき帳簿価額を回収可能価額まで減額するため減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比45.4%減の712百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 岡田 尚一郎

財務ハイライト

Financial Highlights

売上高



営業利益・売上高営業利益率



1株当たり当期純利益



※平成29年7月1日付をもって普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり当期純利益は当該株式併合を考慮した金額を記載しています。

POINT
1 資産合計

当社及び連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社において事業用資産を売却したことに伴い、有形固定資産が減少したこと等により、29,085百万円（前連結会計年度末は29,925百万円）となりました。

2 負債合計

事業用資産の売却に伴う資金を有利子負債の返済に充当し、短期借入金等が減少したことにより、15,675百万円（前連結会計年度末は17,073百万円）となりました。

3 純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、13,410百万円（前連結会計年度末は12,852百万円）となりました。

4 売上高

当社の設備事業セグメントにおいて大型工事の進行基準による完成計上がありました。建設事業セグメントにおいて前連結会計年度に大型工事の完成計上があった反動による売上高の減少や、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リライフの引渡棟数の減少による売上高の減少に伴い、連結売上高は前年同期比7.8%減の29,470百万円となりました。

5 利益

売上高の減少や建設コストの上昇に伴う収益性の低下により、連結営業利益は前年同期比30.4%減の1,320百万円、連結経常利益は前年同期比31.7%減の1,292百万円となりました。また、賃貸不動産物件の売却に伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき帳簿価額を回収可能価額まで減額するため減損損失を計上したことにより、税金等調整前当期純利益は前年同期比40.0%減の1,104百万円となりました。法人税等合計367百万円、非支配株主に帰属する当期純利益23百万円を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比45.4%減の712百万円となりました。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	前連結会計年度 (平成29年12月31日現在)	当連結会計年度 (平成30年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	12,005,694	12,423,200
固定資産	17,919,812	16,662,454
有形固定資産	16,393,801	15,241,399
無形固定資産	178,610	116,496
投資その他の資産	1,347,401	1,304,558
1 資産合計	29,925,507	29,085,654
負債の部		
流動負債	11,441,677	9,851,628
固定負債	5,631,663	5,823,713
2 負債合計	17,073,340	15,675,342
純資産の部		
株主資本	11,139,119	11,709,608
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	9,778,391	10,349,090
自己株式	△109,912	△110,121
その他の包括利益累計額	73,566	46,129
非支配株主持分	1,639,480	1,654,573
3 純資産合計	12,852,166	13,410,312
負債純資産合計	29,925,507	29,085,654

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	前連結会計年度 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで)	当連結会計年度 (平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで)
4 売上高	31,948,962	29,470,596
売上原価	24,891,797	23,199,925
売上総利益	7,057,165	6,270,671
販売費及び一般管理費	5,160,895	4,950,571
5 営業利益	1,896,270	1,320,100
営業外収益	69,607	54,034
営業外費用	74,489	81,559
5 経常利益	1,891,388	1,292,575
特別利益	757	2,809
特別損失	49,900	190,915
税金等調整前当期純利益	1,842,244	1,104,470
法人税、住民税及び事業税	463,112	420,454
法人税等調整額	16,435	△52,566
当期純利益	1,362,696	736,582
非支配株主に帰属する当期純利益	56,744	23,758
5 親会社株主に帰属する当期純利益	1,305,952	712,823

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	前連結会計年度 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで)	当連結会計年度 (平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで)
6 営業活動による キャッシュ・フロー	△989,453	1,351,816
7 投資活動による キャッシュ・フロー	△203,277	540,029
8 財務活動による キャッシュ・フロー	181,798	△1,490,279
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△1,010,932	401,565
現金及び現金同等物の 期首残高	2,520,031	1,509,098
現金及び現金同等物の 期末残高	1,509,098	1,910,664

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	764,815	705,825	9,778,391	△109,912	11,139,119	79,092	△5,526	73,566	1,639,480	12,852,166
当期変動額										
剰余金の配当			△142,125		△142,125					△142,125
親会社株主に帰属する 当期純利益			712,823		712,823					712,823
自己株式の取得				△209	△209					△209
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△24,665	△2,770	△27,436	15,092	△12,343
当期変動額合計	—	—	570,698	△209	570,489	△24,665	△2,770	△27,436	15,092	558,145
当期末残高	764,815	705,825	10,349,090	△110,121	11,709,608	54,427	△8,297	46,129	1,654,573	13,410,312

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT
6 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の増加358百万円及び未成工事受入金の減少464百万円等の減少要因がありますが、税金等調整前当期純利益1,104百万円及び売上債権の減少344百万円等の増加要因により、資金は1,351百万円の増加（前連結会計年度は989百万円の減少）となりました。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出749百万円等の減少要因がありますが、有形固定資産の売却による収入1,220百万円等の増加要因により、資金は540百万円の増加（前連結会計年度は203百万円の減少）となりました。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入2,100百万円等の増加要因がありますが、長期借入金の返済による支出2,410百万円及び短期借入金の減少900百万円等の減少要因により、資金は1,490百万円の減少（前連結会計年度は181百万円の増加）となりました。

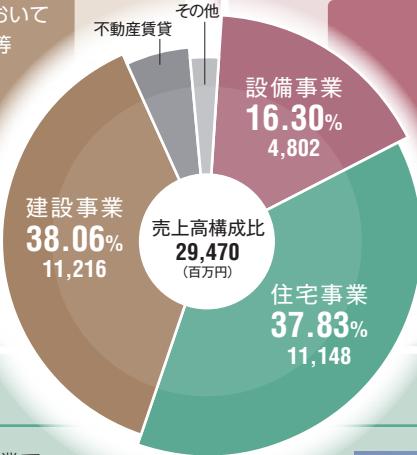
建設事業

建設事業は、美樹工業の原点です。創業以来60年以上にわたり施工を通じて発注者との信頼関係を深め、コンスタントな受注獲得、特命受注、シリーズ化工事を進めてまいりました。スポット受注が大勢を占める建設業界において、業績の安定化、他社との差別化につながっています。



部門別概況

建設事業につきましては、当社の建築工事において大型工物件が減少したこと及び工事の進捗等による影響に伴い、売上高は前年同期と比較して12.6%減の11,216百万円となりました。営業利益につきましては、建築工事の売上高の減少に加えて、収益性の高い物件が減少した影響から、前年同期比44.4%減の617百万円となりました。



設備事業

設備事業は、大阪ガス(株)の指定工事会社としてガス内管工事・ガス機器等の販売施工を行うとともに、生活に欠かせない給排水衛生設備や空調設備工事も行っております。また、連結子会社三樹エンジニアリング(株)では、大阪ガス(株)のサービスショップとして、エネファームやガスヒーボン、カワック、温水床暖房などの販売を行っております。



部門別概況

設備事業につきましては、当社において大型工物件の進捗等による完成や、連結子会社である三樹エンジニアリング(株)において官公庁物件の完成計上があったこと等から、売上高は前年同期比24.5%増の4,802百万円、営業利益は前年同期比31.5%増の186百万円となりました。

住宅事業

当社グループの大きな柱へと成長した住宅事業では、連結子会社セキスイハイム山陽(株)におきましては、積水化学工業(株)のユニット住宅「セキスイハイム」「セキスイツーユーホーム」の販売、施工を行うとともに、連結子会社(株)リブライフにおきまして、外張断熱工法の木造デザイン住宅「リパーロ」等の販売、施工を行っております。



部門別概況

住宅事業につきましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽(株)及び(株)リブライフにおいて引渡棟数が減少した影響等から、売上高は前年同期比14.3%減の11,148百万円となりました。また、売上高減少の影響により営業損失186百万円(前年同期は21百万円の営業利益)となりました。

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	前事業年度 (平成29年12月31日現在)	当事業年度 (平成30年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	7,090,508	6,478,916
固定資産	10,545,283	10,262,180
有形固定資産	9,438,534	9,261,113
無形固定資産	172,273	110,595
投資その他の資産	934,475	890,471
資産合計	17,635,792	16,741,096
負債の部		
流動負債	6,364,266	5,021,845
固定負債	2,488,536	2,458,709
負債合計	8,852,802	7,480,554
純資産の部		
株主資本	8,706,592	9,208,178
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	7,345,864	7,847,659
自己株式	△109,912	△110,121
評価・換算差額等	76,397	52,363
その他有価証券評価差額金	76,397	52,363
純資産合計	8,782,989	9,260,541
負債純資産合計	17,635,792	16,741,096

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前事業年度 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで)	当事業年度 (平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで)
売上高	18,068,854	16,224,102
売上原価	14,953,454	13,604,381
売上総利益	3,115,399	2,619,721
販売費及び一般管理費	1,512,898	1,500,483
営業利益	1,602,501	1,119,237
営業外収益	32,297	40,523
営業外費用	44,357	44,426
経常利益	1,590,441	1,115,334
特別損失	27,425	156,055
税引前当期純利益	1,563,015	959,278
法人税、住民税及び事業税	359,808	313,629
法人税等調整額	23,056	1,728
当期純利益	1,180,150	643,920

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

利益配分に関する方針



当社は、企業価値のさらなる向上を目指しながら株主の皆様へ適切な利益還元を行うことを経営上の重要課題と位置づけ、安定的かつ継続的な利益配分と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実により安定した経営基盤を築くことで企業体質の強化を図ることを基本方針としております。

これらを総合的に勘案した上で、当期の年間配当につきましては、1株当たり100円(うち中間配当50円)といたします。

当期の主な

完成・受注工事

完成工事一覧	
工事名	施主名
太子幹線（第5工区）布設替工事	姫路市
都市計画道路城北線 道路改良工事	姫路市
鴨谷配水池及び進入路 築造工事	加西市
特別養護老人ホーム上新庄逢花苑 新築工事	社会福祉法人逢花
特別養護老人ホームくみのき苑しらさぎ 新築工事	社会福祉法人ラポール会
高槻市高齢者施設 新築工事	JR西日本不動産開発(株)
姫路市・福沢町 新築工事	日本エスリード(株)
プレサンス北区天神橋3丁目 新築工事	(株)プレサンスコーポレーション
亥ノ子池 水上太陽光発電所工事	(株)ノーリツ



▲ 姫路市・福沢町 新築工事
(エスリード姫路グラセント)



▲ プレサンス北区天神橋3丁目 新築工事
(プレサンス扇町駅前)



▲ 特別養護老人ホーム上新庄逢花苑 新築工事
(特別養護老人ホーム菜の花)



▲ 亥ノ子池 水上太陽光発電所工事



▲ 特別養護老人ホームくみのき苑しらさぎ 新築工事



▲ 高槻市高齢者施設 新築工事
(チャームスイート高槻藤の里)

受注工事一覧	
工事名	施主名
名塩道路東久保地区 函渠設置他工事	近畿地方整備局
国道175号稲畑地区 歩道設置工事	近畿地方整備局
福崎駅周辺 整備(その2)工事	福崎町
姫路郵便局 模様替工事	日本郵便(株)
西宮上ヶ原NKビル 新築工事	JR西日本不動産開発(株)
ホテル日航姫路 客室改修工事	オリックス不動産投資法人
プレサンス西中島一丁目 新築工事	(株)プレサンスコーポレーション
淀川区塚本3丁目 新築工事	日本エスリード(株)
神戸工場 新築工事	(株)二川工業製作所

■ 会社情報

商 号	美樹工業株式会社
英 文 商 号	MIKIKOGYO CO.,LTD.
設 立	昭和37年1月
資 本 金	7億6,481万円
従 業 員 数	270名
主 な 取 引 銀 行	三菱UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ銀行 りそな銀行 トマト銀行

■ 役員 (平成31年3月27日現在)

代表取締役社長	岡 田 尚一郎
常務取締役	魚 澤 誠 治
取締役	小 川 洋 市
取締役	山 下 直 彦
取締役	岡 成 一
監 査 役	三 木 立 子
監 査 役	和 泉 洋
監 査 役	山 本 雅 春

■ 事業所

本 店	兵庫県姫路市東延末二丁目50番地
大 阪 支 店	大阪市中央区道修町三丁目6番1号
神 戸 支 店	神戸市中央区港島中町一丁目1番地の3

■ 株式の状況

発行可能株式総数	: 4,000,000株
発行済株式の総数	: 1,153,263株
株主数	: 1,831名

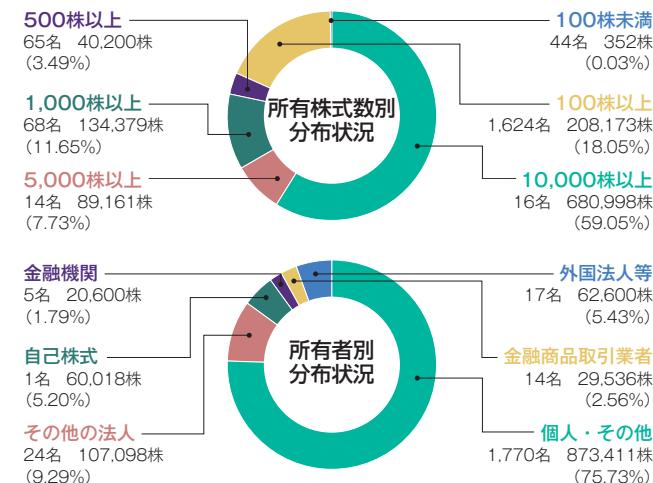
■ 大株主の状況

株 主 名	持 株 数	持株比率
三 木 佳 美	167,050株	15.28%
三 木 博 也	151,760株	13.88%
有 限 会 社 フ レ ン ド 商 会	70,698株	6.46%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP25 DUBLIN CLIENTS - AIFM	27,600株	2.52%
平 野 勝 也	26,800株	2.45%
中 田 純 夫	24,050株	2.19%
三 木 立 子	21,221株	1.94%
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	21,200株	1.93%
中 田 知 子	20,537株	1.87%
美 樹 工 業 社 員 持 株 会	20,337株	1.86%

(注1) 上記のほか、自己株式が60,018株あります。

(注2) 持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式の数を除いております。

■ 株式分布



株主優待制度のご案内

① 対象株主

毎年6月30日及び12月31日時点で、
1単元以上保有の株主様を対象といたします。

② 優待内容

(株)サラダコスモの商品の詰め合わせ
(国産ちこり、緑豆もやしなど)

③ お届け時期

9月末頃と3月末頃の発送を予定しております。



※内容が異なる場合がございます。

事 業 年 度	1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	3月中
配当金受領株主確定日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
株 主 名 簿 管 理 人 (特別口座の口座管理機関)	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777 (通話料無料)
上 場 市 場	東京証券取引所JASDAQ市場
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 貸借対照表及び損益計算書にかかる情報は 当社ホームページに掲載しております。 当社ホームページ： http://www.mikikogyo.co.jp/

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金受領方法のご指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
ホームページアドレス
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



美樹工業株式会社

<http://www.mikikogyo.co.jp/>